

変異暴走：殺戮 暴走効果+メジャーアクションでは他のキャラクターを攻撃するか行動放棄するしかできなくなる

ジャームの遺伝子を持ったオーヴァードはジャームになるのか、というテーマの下に某研究組織で生まれた実験体。とあるUGNエージェントの細胞とFHエージェントの細胞で作られたクローンであり、見た目はそのUGNエージェントと瓜二つ。ノイマンとパロールのクロスブリードとされていたが、時折発症していないはずのシンドロームの能力の発現や、斬った敵から力を得ていることが確認されるようになり、精密検査の結果パロールではなくウロボロスのシンドロームだったことが判明した。

生まれて間もないが、基本的な教養と戦闘技能は脳に直接インプットされている。知識に経験が伴っていないため、ズレた行動に出ることがある。実験自体は凍結されたが本個体をそのまま処分するわけにもいかず、体の良い使い捨てとして頻繁に任務に駆り出されている。

強制的に体を成長させる処置を施されていることが原因で心身が不安定で幼い。

戦いにしか自分の存在価値は無いと思っており、普段は大人しいが戦闘狂。戦闘時になると人が変わったように凶暴な一面を見せる。任務遂行にしか意識を向けなかったが、とある任務をきっかけに食や娯楽に対して関心を向けるようになった。